

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 福徳開発

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・経営理念を明文化し、経営者は会社のあるべき姿を従業員に開示し共有している。 ・各期のスローガンや事業目標、各部署の存在意義を共有化し、モチベーションを高め、日々の業務を遂行している。								8	9												17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・入社時の新人研修時にしっかりと理解させており、定期的開催される幹部研修にて浸透度合いを確認している。																					16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・社則にて不正行為禁止を明文化しており、新人研修時に理解させ、外部講習会を定期的実施しコンプライアンス研修を行っている。														10							16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・社会活動に関する部署を充足しており、事業活動以外で社会貢献活動を実施している。																					16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・顧問弁理士と打ち合わせを定期的実施し、知的財産の保護に取り組んでいる。										8.2 8.3	9												
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・入社時の新人研修にて情報漏洩の禁止を理解させている。 ・個人情報に関する資料は、漏洩がないよう適切に保管している。																					16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・顧客からのアンケート等により改善に努め、定期的に情報を発信しより良い環境整備を目指している。																				16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・人権侵害等への配慮など、問題意識の共有に努めている。 ・取引先の活動に関心を持ち、対話に努めている。					5					8		10			12	13	14	15	16	17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・BCPを策定しておりそれを基に不測の事態に対応し、定期的にBCPの点検、見直しを行っている。 ・定期的に避難訓練や消防訓練を実施している。												9			11			13.1			16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・後継者の指導・育成に取り組んでいる。													8	9								17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●									1	2						8					12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別や各種ハラスメントの防止について就業規則を設けている。 ・常時外部投稿ツールを活用し、ハラスメントや不満等が投稿された場合は担当者がカウンセリングを実施している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3									16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・就業規則に安全衛生の遵守義務を設けており、入社時に安全衛生教育を実施し労働環境の整備に取り組んでいる。											8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・給与規定に基づき従業員に対して公正な待遇を行っている。																							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・社員それぞれの仕事と自分の時間の両立、ワークライフバランスの適正化を推進し、個人のライフスタイルに合わせて勤務時間等の調整を可能にしている。 ・福利厚生サービスJTBBを有効活用し、ワークライフバランスを各自で取れる仕組みを従業員に提供している。											8.5 8.8		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・定期的に社内研修、外部講師を招いての研修や外部研修の受講を実施している。 ・業務に必要な資格を取得した場合、資格手当を支給している。					4	5.5				8	9												
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている。 ・福利厚生サービスJTBBへ加盟し、従業員の生活を支えるプラットフォームを整えることで、働きやすさを醸成している。												8										17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・昇進や昇格等に人種、性別等の違いによる差別的待遇は行っていない。また、過去には外国人を雇用した実績もあり、今後そのような応募があれば適切に対応する。					4.4	5.1 5.5					8.5		10.2 10.3									16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議を導入している。	●		・会議は基本Web会議とし、そのための設備投資や環境を迅速に整備している。 ・全従業員に対し、PCR検査を定期的実施している。												8	9.1			11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・クラウドシステムを活用したマネジメントとマーケティングの実現に向け、業務改革に取り組んでいる。 ・ワークフローや社内文書等の電子化を進めている。												8	9.1			11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●																8	9							12	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 福徳開発

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・アスベストを使用していない事を全ての建物で確認している。 ・水銀灯をLED照明へ随時交換し、環境負荷の軽減に取り組んでいる			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・省エネ法に基づく定期報告書と中長期計画書の提出を行い、年間のエネルギー使用量を把握し、節電に取り組んでいる。 ・エネルギーマネジメント支援サービス「エナッジ」を導入し電力の使用量を管理し削減に努めている。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・省エネ法に基づく定期報告書と中長期計画書の提出を行い、年間のエネルギー使用量を把握し、節電に取り組んでいる。 ・エネルギーマネジメント支援サービス「エナッジ」を導入し電力の使用量を管理し削減に努めている。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・環境に配慮した材料、製品、サービスの提供を通じて、生物多様性保全に努めている。						6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・コピー用紙については再生紙を利用し、ペーパーレス化、裏紙の活用を推進している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・農家と協力し米作りを行い、水源かん養に積極的に取り組んでいる。 ・節水については節水型製品を積極的に導入し保全に努めている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生紙利用を推進している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●									6.4						12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・店舗植栽スペースを積極的に緑化し、随時季節の花を植えている。												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・LED照明及び高効率機器の空調に変更を行い、エネルギー使用率の改善を行っている。								7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●														12.2 12.5			14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2		

